ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	廣田 美穂
主な担当科目	実技個人レッスン〔声楽Ⅰ②,声楽Ⅰ③,声楽Ⅰ④,声楽②,音楽芸術表現実技(声楽)②,音楽実技(声楽)Ⅰ〕
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の教育目標・授業に臨む姿勢	様々な背景を持つ(留学生、メンタル、学習障害等)学生、一人一人と対話を重ねながら、各人に寄り添ったレッスンを行うことを改めて心がける。そのためにも教材研究の幅を広げる必要があるため、多くの作品に触れるようにする。またオペラ演習や副科合唱に関しては歌うことの心地よさや楽しさを実感し、自ら学習する力を持たせられるようにしたい。
2023年の教育に関する自己評価	成長の度合いは学生それぞれと言えども、各々自分の課題を見つけ積極的に勉強したように感じる。オペラ演習では自分自身の新たな面を発見したり、学生同士のつながりが深くなり、より積極的に歌う様子がうかがえた。副科合唱では高校3年間歌うことなく履修した学生が大多数を占めたものの、少しずつ声を出しハーモニーを作ることができた。ソルフェージュでは新たな教材を使い、学生たちが集中力をもって取り組んだ。よって概ね目標に近づくことができたと思うが、伴奏の練習は今後もう少し時間を使って取り組むことにする。
2023年のFD活動に関する自己評価	下記のものに加え音楽教養の学内組織FDにも参加したが、数多くのFDに参加し、様々な考え方や意見、そして学生への対応を共有することができ、また外部講師を招いてのFDは視野が広がり新しい知識を得たり、これまでの知識をアップデートしたりと興味深く参加できた。
授業改善のために取り入れた研修内容	授業改善とまではいかないが、ジェンダーについて元々ある程度理解していたが、学んだことでそのような学生とより話がし易くなった印象がある。

2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2218 教員名:廣田 美穂

1)アンケート結果に対する所見

いずれの科目についても回答者数が全体的に少ないとはいえ、概ね授業について満足度を得ているように見える。回答がなかった方々については、特に不満がなかったために回答を控えた可能性も考えられる。またいずれの科目についても予習・復習(Q8)についての設問では積極的に取り組んでない様子も伺える。これまでのアンケートでもこの項目は自身の評価が下がる部分であり、改善の余地がありそうだ。

2)要望への対応・改善方策

合唱は 100 人規模であり、またソルフェージュの授業は 20 人前後の学生を相手にしているが、いずれの授業についても一人一人とできるだけ向き合うようにしつつ、クラス全体の技量や知識の底上げを図るようにはしている。とはいえ一人一人に対応した内容にするのも難しいため、合唱ではパート毎に分けて音取りや練習をしつつ、1 人ずつ歌わせることで、自分の音に責任感を持たせたり、またそのことによりお互いが助け合って取り組むようにしている。

同様にソルフェージュの授業でも今年度は 2 人一組になり2声の課題をすることで一緒にハーモニーを作るためと互いに一つの課題に取り組み、積極的に授業に参加するようにしてみた。

オペラ演習では失敗を怖がらなくて済むクラスの雰囲気作りについて気をかけ、間違ってもいいから積極的に歌うことができるようにした。

今回指摘のあった学生の話に乗っかることについては、基本的には乗ったとしても全体に向けて話をするようには心がけている。全員にとって有効な内容になる方向へ持っていくようにはしており、今後も気をつけながら授業を進めるように心がける。

3)今後の課題

現在の学生たちはとても真面目に授業に出て、練習もし、また生活のためにアルバイトもしている学生が多い。その為時間がなく予習・復習に手が回っていない部分もあるだろう。学生の負担にならない程度に、最低限必要な予習復習を自ら行う方向づけや、課題を提示していくことにする。

そして学生たちが有意義な時間を過ごせるよう、協力していきたいと思う。

以上